

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校教育総務施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	施設の不良箇所の修繕、樹木の剪定等による日常的な施設の維持・保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設を維持するための光熱水費、各種点検・保険料、土地使用料等の支出</li> <li>中学校施設の日常的な管理における小規模な破損、不良箇所の修繕</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の老朽化に伴い、修繕要請箇所は増加、内容も多岐</li> <li>修繕実施件数、費用は横ばいであるが、美観対応の樹木剪定等が困難になる傾向</li> <li>デザインビルド型包括管理業務委託の採用により設備の保守点検業務の予算及び発注事務を財産活用課に移管</li> </ul>			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		施設修繕実施件数	160	137	168	件	
	電気料	29,197,767	29,238,562	35,511,395	円	↓↓↓	
	ガス料金	475,028	468,640	475,648	円	↓↓↓	
	上下水道料金	36,191,384	35,063,227	37,191,707	円	↓↓↓	
指標で表すことができない定性的な成果	光熱水費の低減のため、他事業で施設の環境向上、低電力器具への修繕等を実施			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・施設の修繕は、予算の範囲内で実施したものであり、指標としては判断しにくい。 ・光熱水使用量は、学校利用者の取り組みもあり、低減される傾向であるが、その年の気候状況の影響を受けやすく、また、使用料自体が値上がりの傾向にある。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		143,198,241	139,003,974	147,209,244			
事業費(b)(円)		142,855,223	138,600,021	141,653,894			
うち一般財源		142,855,223	138,600,021	141,653,894			
職員給与費(c)(円)		343,018	403,953	5,555,350			
人役・職員(人)		0.04	0.05	0.77			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.01	0.01	0.16			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）		コストの削減 B 削減の余地がややある			

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	光熱水費、委託料の削減。
今年度(H25)に実施した取り組み	保守点検業務委託の発注方法及び仕様書の見直し。

取り組みの課題	限られた予算の中で、毎年進行する施設・設備の経年劣化に対応するためには優先順位を的確に判断することが必要。
今後の改善計画	事後保全から予防保全への切替を目指し、計画的な維持管理を実施していく。